

PCIT

Parent-Child Interaction Therapy

～親子相互交流療法～



 神戸女学院大学大学院
心理相談室

PCIT とは？



PCIT(Parent-Child Interaction Therapy)
とは親子関係を改善し、信頼関係を
深めるために、親子が一緒に遊びながら、
必要なスキルを練習し、身につけていく
療法です。

どんな行動に効果があるの？

子どもがぐずる、言うことを聞かない、
暴言を吐く、かんしゃくを起こす、
落ち着きがない、口ごたえをする、
物を壊す、自信がない、嘘をつく...etc

対象となるのは？

対象年齢は2～7歳とされており、
効果が実証されています。

*料金

3000円 / 1セッション

(継続プログラム。習得ペースにより、
必要セッション数は異なります。)

*方法

お電話にてお申し込みください。
(受付件数に限りがございますので、
お待ちいただくことがございます。
あらかじめご了承ください。)

*アクセス



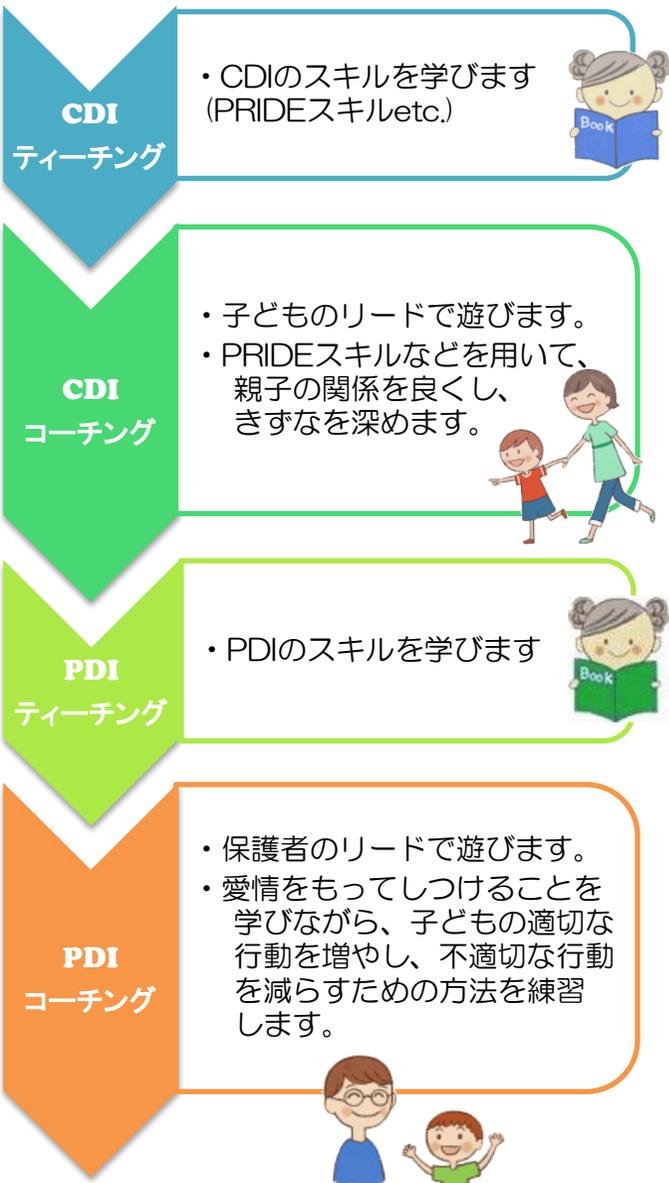
神戸女学院大学
正門
ポスト
就次郎
神戸女学院大学への
緑地あり
図書館
スーパー
ATM
カフェ
至宝庫
門戸厄神駅
阪急電鉄今津線
西宮北口駅
西宮南口駅
西宮五丁目

門戸厄神駅より徒歩10分、西宮北口駅よりタクシーで10分

神戸女学院大学大学院 心理相談室

〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山4-1
0798-51-8554
(受付時間 10時～17時)

PCITの流れ



PCITって何をするの？

部屋の中で保護者と子どもが遊び、別室にいるセラピストがトランシーバーを使って保護者にライブコーチします。どうすればよいか、その場でわかりやすくコーチされるので、保護者は体験しながら関係改善のスキルをスムーズに習得することができます！

1回60分～90分の継続プログラムです。子どものリードで遊び、親子の関係を強化することを目指すCDIと、CDIで獲得したスキルを維持しながら、効果的な“躰の仕方”を指導し、子どもの問題行動の減少を目指すPDIに分かれています。



PRIDEスキルとは？

- P**raise 子どもの行動を具体的に褒める
- R**eflect 子どもの言葉を繰り返す
- I**mitate 子どもの行動を真似る
- D**escribe 子どもの動きを言葉にする
- E**njoy 一緒に楽しむ

PCITは 1970年代、フロリダ大学のSheila Eyberg教授によって考案・開発され、現在も発展を続けています。これまでの研究により、PCITは、子どもの問題行動や養育者の養育困難、里親養育措置などで、海外でも効果が認められました。



PCITをするとどうなるの？

- ◆ 子どもの問題行動(嘘をつく、叩いたり蹴ったりする、暴言を吐く、物を壊す、言うことを聞かない、落ち着きがない、etc.)の改善を目指しています。
- ◆ 親子が楽しく過ごす為に必要なスキルを保護者の方が身につけることができます。
- ◆ 親子間の悪循環を断ち、コミュニケーションを改善していきます。
- ◆ 虐待の再発を防止します。

